資料５

令和８年度の主要実施事業報告

（１）京丹後市文化財保存活用基金［基本方針 1-2-6 ］

京丹後市文化財保存活用基金から文化財保存活用事業に繰入し、補助金交付額の拡充をはかる。

京丹後市文化財保存活用基金（令和５年９月１５日付設置）

令和７年度末残高１億 3340 万 9653 円。

寄付金額の増加のための更なる工夫が課題。

（２）京丹後市市民遺産制度［基本方針 1-5-24］

令和６年４月１日から公募を開始。

令和６年度　京丹後市市民遺産の認定件数　５件。

令和７年度認定件数：１件

令和８年度認定目標件数：３件

（３）網野銚子山古墳活用事業　［関連文化財群 2-1-3］

「(仮称）網野銚子山古墳フェス」の実施。

活用イベントを 10 月３日（土）に開催予定。史跡整備を完了した網野銚子山古墳について、より一層の活用を目指すために、地元市民への周知・交流を図り、賑わいを創出するフェスを開催する。

古墳に関するトークショー等ステージイベントや、地元業者等による物販、キッチンカーなどを検討中。

（４）官民学連携［基本方針 1-5-26、関連文化財群 2-1-6］

湯舟坂２号墳プロジェクトにおいて、市教委・府大・須田区が協力し、須田平野古墳の発掘調査等を実施予定。調査研究と次世代育成につなげる。

（５）丹後震災記念館耐震化・利活用検討事業　［関連文化財群 1-3-2］

丹後震災から１００年を迎えるにあたり、丹後震災記念館の耐震化や新たな利活用について検討を進め、方針書や基本計画を受けて市として保存活用に関する判断を行う。

また、防水シートや雨樋の補修など、劣化進行をできる限り抑えるために必要な処置を講じる。

（６）丹後震災 100 年に向けた取組み　［関連文化財群 1-3-1］



令和９年３月７日に丹後震災から 100 年の節目を迎えるにあたり、震災の記憶を風化させることなく、次代に伝えていくとともに、様々な防災・減災に向けた自助・共助・公助の取組を一層推進することにより、地域防災力の一層の向上、市民の防災意識のさらなる向上を目指す。事業にあたっては実行委員会を組織し、以下の事業を行う。

・シンポジウム開催

・遺構現地見学ツアー

・丹後震災資料パネル展示

・記念冊子作成

（７）詳細遺跡分布調査の実施　［関連文化財群 1-3-1］

京丹後市内では峰山大宮道路の建設に伴う発掘調査が行われ、様々な成果が報告されています。その知見により改めて遺跡の分布状態を確認し、開発計画との調整を図るため実施する。